

シリコンフォ レストの中心部

ヒルズボロはポートランドのダウンタウンから16キロメートル(10マイル)西に位置するオレゴン州で5番目に大きい都市で、人口248万人を有するポートランド大都市圏の中でもなくてはならない地域となっています。1980年代後半まで、ヒルズボロは農業をその経済の主要なものとする、人口40,000人に満たない小さなコミュニティでした。現在、人口は101,000人を上回り、2035年までにはさらに20%増加すると予想されています。

ポートランド地域の名目国内総生産は1,717億ドルで、2017年に米国の大都市経済圏で21位になりました。さらに、ビジネスコスト、雇用の増大、および教育の各観点から、フォーブスの2018 Best Places for Businessで3位にランクされました。ヒルズボロは、製造業と技術産業に強固な基盤を持ち、ポートランド大都市圏とオレゴン州双方にとっての経済的エンジンであり続けるでしょう。我々は、技術と革新のための世界クラスの場所になるという将来的展望を持っています。

ヒルズボロの急速な成長は、ハイテク産業と半導体産業で1980年代半ばに始まったブームによりもたらされました。電力品質、豊富な水の供給、および豊富な工業用地により、ヒルズボロは理想的な場所となったのです。1980年代半ばから、ヒルズボロは米国、ヨーロッパ、日本企業による投資の伸びを目の当たりにし、いまやシリコン製造の世界有数の拠点の1つとなりました。

ヒルズボロには、エプソンポートランド、東京エレクトロン、東京応化工業、旭硝子、

東海カーボン、住友電工、ダイニックUSAがあり、これら企業はヒルズボロで20年以上の歴史を持ち、現在も操業を続けています。

ヒルズボロには、コミュニティ内に多くのグローバルテクノロジー企業があるため、シリコンフォレストとしても名前をはせており、それら優れた企業のリストは以下のとおりです。

- オレゴン州最大の民間雇用主であるインテルは、ヒルズボロに約20,000人の従業員を抱えています。
- クォーボは、スマートフォンを含むモバイル通信デバイス用の半導体部品のグローバルリーダーです。
- ロシュグループの一員であり、米国のバイオサイエンステクノロジーの創始者であるジェネンテックは、ヒルズボロに医薬品の充填および仕上げ用の施設と西海岸の流通拠点を構えています。

ヒルズボロは単なるテクノロジーの中心地ではありません。Salesforce.comは、ヒルズボロで共有サービスセンターを運営しており、そこでは住宅金融、人事サービス、ソフトウェアの技術者と開発者、IT、顧客サービスの専門家に関するサービスを提供しています。そこはカリフォルニア州サンフランシスコにあるSalesforce.com本社以外の同社初の米国ベースの共有サービスセンターです。ナイキは、会社機能の一環として、ヒルズボロで約2,000人を雇用しています。ヒルズボロの東に位置するナイキの事業所には合計10,000人以上が雇用されています。Coraline (2009)、Kubo and the Two Strings (2016)、The Missing Link (2019)などのストップモーション映画で知られるライカは、過去5年間で何度もヒルズボロでの事業を拡大しています。

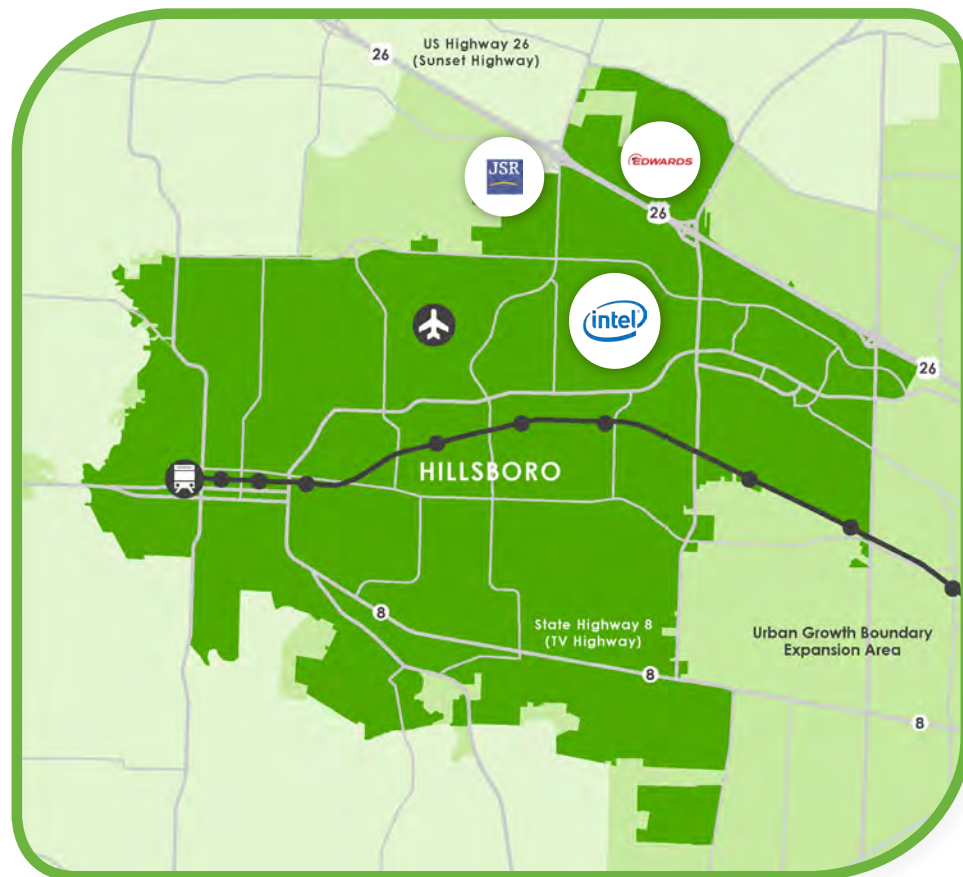
ヒルズボロを選ぶ理由

ヒルズボロの経済成長は、入念かつ綿密に練られた計画によって成長を遂げました。ヒルズボロ工業地区（地図の反対側のページに表示されている地域）は、主要な高速道路に近接している、土地が平坦である、住宅地が限定されている、製造需要を満たす公共インフラが存在する、等の理由により、工業地域として特にターゲットとされました。顧客サービスは市の優先事項であり、ビジネスも例外ではありません。ヒルズボロは、企業と協力して問題や懸念を解決することで世界的な評価を得ているため、両者は現在の状況に満足しています。加えて、ヒルズボロ市はビジネスコミュニティや行政のあらゆるレベルのリーダーと提携しています。我々は共に協力して企業の移転、拡大、およびスタートアップ事業を支援します。

ヒルズボロ市が提供するもの

- あらゆるサイズの販売用またはリース用の建物および土地
- 大規模、中規模、小規模の製造業務にあった公共インフラおよび50年にわたる十分な水の供給
- 地域の電力会社であるポートランドジェネラルエレクトリック（PGE）は、ヒルズボロのハイライアビリティセンターに1億ドル以上を投資しています。
- テクノロジーおよび製造業に熟練した労働力
- ニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントンDC、アトランタ、ボストンなどの目的地への直行便が70便以上あるポートランド国際空港（PDX）に簡単にアクセスでき、国際線直行便としてドイツ、アイスランド、日本、メキシコ、オランダ国内の各地への便が利用できます。
- 毎日運行しているインテルのフライトや航空貨物サービス、ナイキの企業格納庫などのサービスも含めた民間およびチャーター便の運航を提供する地方空港があります。
- ポートランドおよび周辺のメトロエリアへのライトレール輸送は高速で、かつ手頃な価格で利用できます。
- 主要な高速道路と州間高速道路への即時アクセス
- 消費税なし
- 営業所得税なし
- 在庫税なし
- ヒルズボロエンタープライズゾーンプログラムとは、ヒルズボロの大部分の工業用地が対象で、適格と認められた企業向けに最大5年間にわたって新しい建物や機械および装置に対する100%の税制上の優遇措置が受けられるというものです。
- オレゴン州は、住宅および産業用建物のグリーンビルディングプロジェクトも推進しています。エネルギー効率と太陽光発電の効果が水準を超えるプロジェクトには、現金褒賞制度と税金控除が適用されます。
- 市のスタッフは、製造業務の立ち上げ、移転、拡大に関わるどのような問題においても、その支援のため力を尽くしています。





注目すべき点



1974年のインテルによるオレゴンでの最初の投資以来、半導体メーカーによるオレゴンへの資本投資は400億ドルを超えました。

インテルオレゴンは、世界最大かつ最も複合的な職場であり、半導体の研究と製造の世界的中心地であり、州最大の民間企業です。ワシントン郡内で20,000人以上の従業員が働いており、その大半はヒルズボロの3つのキャンパス、ホーソンファーム、ジョーンズファーム、ローナーエーカーズにて勤務しています。ローナーエーカーズの敷地面積は約202ヘクタールあり、インテルの最も先進的な研究開発センターが存在しています。

D1X Mod 3の建物拡張は、92,903平方メートルのファブ施設として提案計画されたものであり、既存の建物の西側から進めて、総建築面積362,321平方メートルの新しい建物となります。現場の改築には、ユーティリティ用トレッセル、サービスヤード、歩行者通路、およびNE Shute ロードに面した遮蔽壁が含まれます。さらにこのプロジェクトには、1800台収容可能、5階建て12,300平方メートルに及ぶパーキング施設、および多目的テクノロジービルが含まれます。



半導体真空ソリューションおよび除害ソリューションのグローバルリーダーであるエドワーズは、ヒルズボロに新しいハイテク技術革新および製造センターを完成・開設しました。6,968平方メートルにおよぶこの最先端の設備は現在、英国を拠点とする企業のための北米における半導体本拠地として機能し、100の新しいハイテク雇用を生み出しています。新しい2階建ての工業用建屋は3.2ヘクタールの敷地内にあり、多数のハイテク職を含む250人以上の従業員を収容します。この設備は、主に製造、研究開発、組立、生産、オフィス、倉庫スペースに使用されます。



JSR マイクロは、半導体、ライフサイエンス、エネルギー材料ソリューションの革新を推進している企業です。同社はヒルズボロに7,432平方メートルの製造施設を建設し、半導体集積回路メーカーに製品を供給しており、i線およびKrF、ArF液浸フォトリソ、現像液、反射防止膜などの高性能半導体リソグラフィ材料の世界的リーダーです。JSR マイクロの新しい施設はヒルズボロテクノロジーパークに建設され、2020年に操業が開始される予定です。

ヒルズボロの海外直接投資企業



日本

- AGCエレクトロニクス・アメリカ
- ダイフク
- スクリーン SPE USA
- ディスコ ハイテク アメリカ
- ダイニック
- 荏原製作所
- エプソン ポートランド
- ファイバーセンシス
- 日立ハイテクノロジーズアメリカ
- JSR マイクロ
- コクサイセミコンダクター エクイップメント
- 明治安田生命
- 村田製作所
- ニコン
- 伸和コントロールズアメリカ
- 住友電工セミコンダクターマテリアルズ
- 東海カーボン
- 東京エレクトロニクスアメリカ
- 東京応化工業
- 東ソー クォーツ
- ヤマト運輸

ヨーロッパ

- アマースポーツ
- ASM
- ASML US
- ジェネンテック
- ジョナス&レッドマン
- KoCoS
- マイヤーバーガー
- ローデアンドシュワルツ
- シーメンス
- スカンスカUSA
- VWクレジット\

中国

- Leyard Planar

韓国

- KoMiCo テクノロジー



CONTACT:

Jim Riley

Senior Economic Development Manager

James.Riley@Hillsboro-Oregon.gov

October 2019